

Ⅲ. 目標行動の決定

目標行動は、訓練目標として何がどの程度に出来ればよいかを決める。

前項手順で述べたように、目標行動は行動分析の対象作業選定の前提要件となるものであるから、具体的な行動の形で決める必要がある。

企業ニーズに即した目標行動を決定するため、複数の企業を対象に職務分析を行なうとよい。

例えば、ハンダづけ（電子系）に必要な技能として次のことが要求され、現にその職務を遂行している技能者がいるなら、これらが目標行動となる。

・ ペンシル型又はピストル型の電気ハンダコテを用いて、次のハンダづけが標準時間内に出来る。

a	ラグ端子への線材チョンづけ	3 秒
b	" ひっかけ	5
c	" 巻きつけ	8
d	基板への線材ハンダづけ	2
e	スイッチ等部品への線材ハンダづけ	100%合格

なお、本稿では上記のうちaとdの2つの技能を目標行動と決め、以下事例中心に手順に従ってすゝめる。